

目標Ⅳ

# 自立する力の育成

## 施策

施策11 ● キャリア教育・職業教育の推進

施策12 ● 主体的に社会の形成に参画する力の育成

## 施策11

キャリア教育・  
職業教育の推進現状と  
課題

IoT<sup>※</sup>やビッグデータ<sup>※</sup>、AI<sup>※</sup>等といった技術革新の進展により、今後、日本の労働人口の約半数の者が就いている職業が技術的にはAI<sup>※</sup>やロボット等により代替できるようになるとの予測があり、また、これまでになかった仕事が新たに生まれることが指摘されています。さらに、雇用形態の多様化や労働市場の流動化の進展も予想されています。

このように社会の大きな変化が見込まれる現状において、子供たちが社会人・職業人として自立し、社会の変化に対応し、更に新たな価値を創造していく力を身に付けることが必要です。

そのためには、各学校段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育<sup>※</sup>・職業教育<sup>※</sup>を推進し、社会的・職業的自立の基礎となる知識や技能を身に付けさせるとともに、子供たちが人生を切り拓く力<sup>ひら</sup>を育成することが大切です。

また、文化等の異なる背景を有する多様な人々と協働することができる能力、問題発見・解決能力、リーダーシップやチャレンジ精神を身に付けることも求められます。

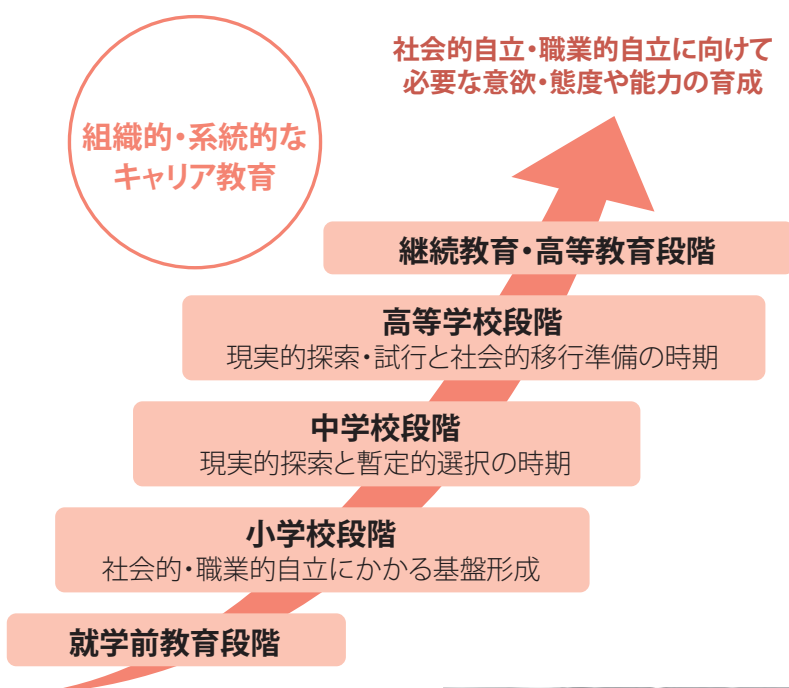
## 施策の方向性

- 学校において、家庭や地域・企業と連携して、各学校段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育<sup>※</sup>・職業教育<sup>※</sup>を推進します。
- 学校において、家庭や地域・企業と連携した就職支援に取り組みます。
- 子供たちが働くことについて関心や意欲を持てるように、学校・地域・企業などが一体となって、実際の職場での体験活動を推進します。
- 専門高校などにおいて、実践的で高度な専門的知識・技術の習得を図る産業教育に取り組みます。

# 主な取組

## 小・中学校、高等学校における体系的・系統的なキャリア教育<sup>※</sup>・職業教育<sup>※</sup>の推進

- ▶ 児童生徒が明確な目的意識を持って主体的に自己の進路を選択できる能力を身に付けられるよう、児童生徒が活動を記録し、蓄積する教材などを活用しながら発達の段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育<sup>※</sup>を推進します。
- ▶ 社会人・職業人として自立できるよう、地域や産業界と連携・協力し、児童生徒の勤労観・職業観を育成します。
- ▶ 中学生が適切な進路を主体的に選択できるよう、生徒と保護者から信頼される進路指導を推進します。
- ▶ 高等学校では、家庭や地域・企業との連携を強化し、四者面談会の実施など、生徒の就職を支援する取組を推進します。



▲高校生向けキャリアセミナー

## 障害のある子供たちの自立と社会参加を目指したキャリア教育<sup>※</sup>・職業教育<sup>※</sup>の推進

- ▶障害のある児童生徒一人一人の状態やニーズに応じて、その可能性を最大限に伸ばし、自立のために必要な力を育成します。
- ▶障害のある児童生徒の自立と社会参加を着実に進めるため、労働・福祉などの関係機関や企業との連携強化を図りながら、特別支援学校におけるキャリア教育<sup>※</sup>・職業教育<sup>※</sup>の充実に組織的に取り組みます。
- ▶障害のある児童生徒の潜在的能力を伸ばし、進路選択の幅が広がるよう、ICT<sup>※</sup>を活用した教育などを進めます。
- ▶関係機関や企業と連携した職業実習・地域活動を通して、地域における障害者理解を進めるとともに、特別支援学校の生徒に対する就労支援や一般就労の拡大を進めます。



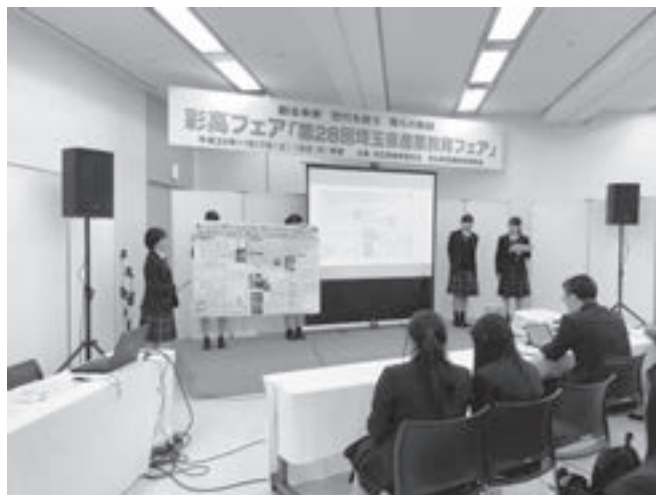
▲特別支援学校における職業教育

## 企業等と連携した職場体験活動などの充実

- ▶企業や施設などにおける職場体験やインターンシップ<sup>※</sup>、就職相談を地域や産業界、関係機関と一体となって実施します。
- ▶産業界や関係機関と連携・協力し、子供たちにもものづくりの大切さを体験させるなどの活動を通じて、将来の本県の産業界を担う人材を育成します。

## 専門高校における産業教育の推進

- ▶ 専門高校の生徒の技術力・創造性や課題解決能力、コミュニケーション能力などの向上を図るため、生徒による学習成果の発表の場である埼玉県産業教育フェア<sup>※</sup>の開催などを進めます。
- ▶ 地域の産業を担っていく人材を育成するため、専門高校の教育施設・設備の整備・充実を図ります。



▲埼玉県産業教育フェア

## 専門高校拠点校<sup>※</sup>の整備

- ▶ 新たな発想で新時代の課題に取り組む姿勢と素養を持ち、県内をはじめ国内外で活躍できる人材を育成する専門高校拠点校<sup>※</sup>を整備します。

## 地域産業や保健・医療・福祉などを支える専門的人材の育成

- ▶ 専門高校専攻科や高等技術専門校などにおいて、地域や産業の発展に貢献できる力を身に付けた専門的職業人を育成します。また、専修・各種学校における専門的人材を育成する教育を支援します。
- ▶ 県立大学では、保健・医療・福祉の分野の専門的知識と技術を有し、様々な分野の専門職と連携・協働して人々の健康と生活を総合的に支えていくことのできる人材を育成します。

# 主体的に社会の形成に 参画する力の育成

## 現状と課題

社会の持続的な発展を生み出す上では、一人一人が主体的に社会に関わっていくことが重要です。そのため、学校教育において、地域社会とも連携しつつ、主体的に社会の形成に参画する力を、これからの社会・経済を担っていく子供たちに育むことが求められます。

平成28年(2016年)から選挙権年齢が引き下げられ、18歳以上の高校生が選挙権を持つようになりました。しかし、若年者の投票率の低さが課題となっており、小・中学校段階から子供たちの政治や選挙への関心を高めることが重要です。

平成34年度(2022年度)には、18歳を迎えた者が成人と認められ、高校生であっても自分の意思で契約できるなど成人としての行為が可能となります。そのため、高校生を含む若年者が消費者トラブルや悪質商法の被害に巻き込まれないための知識や消費者市民社会<sup>※</sup>の重要性についての考え方を身に付ける消費者教育などが重要になります。

さらに、持続可能な社会<sup>※</sup>の担い手を育成するため、環境問題や資源・エネルギー問題についての学習の充実が求められます。

加えて、将来、子供たちが社会的に自立した存在になる上では、職場や地域社会で多様な人々と協働していくための社会性やコミュニケーション能力などの育成が重要です。

## 施策の方向性

- 公共の精神に基づいて個人と社会との関係を適切に理解するとともに、社会的課題に対応し、将来の社会を担っていくことができる力を育成します。
- 自立した消費者としての責任ある消費行動ができるよう必要な知識や考える力などを育成します。
- 持続可能な社会<sup>※</sup>の担い手となる力を育成します。
- 他者と連携・協働していくための力を育成します。

# 主な取組

## 主権者教育<sup>※</sup>の推進

- ▶政治に参加するための自覚を育成するとともに、納税やボランティアなどに対する積極的な態度やより良い社会を実現していく上で主権者として必要なことを多面的・多角的に考え、課題を主体的に解決しようとする態度を育成するため、学習指導要領<sup>※</sup>に基づき主権者教育<sup>※</sup>を推進します。



▲本物の記載台を活用した模擬投票の様子

## 消費者教育の推進

- ▶一人一人が消費者として主体的に判断し、責任を持って行動できるようにするため、消費者教育教材の活用を促すなど、学習指導要領<sup>※</sup>に基づき消費者教育を推進します。

## 環境教育の推進

- ▶発達の段階に応じて、関係機関と連携し、学習指導要領<sup>※</sup>に基づき教科等横断的に環境教育を推進します。

## 持続可能な開発のための教育（ESD）<sup>※</sup>の推進（再掲）

- ▶地球規模の課題を自らの問題として捉え、課題解決に向けて自ら考え行動を起こすことができる担い手を育むため、持続可能な開発のための教育（ESD）<sup>※</sup>を推進します。

## 多様な人材と協働する力の育成

- ▶生徒同士の学び合いの中で一人一人に役割を担わせて主体性を引き出し、話し合い、考えの統合を図る「協調学習<sup>※</sup>」などを通して、コミュニケーション能力や問題解決能力等を育みます。